

目次

開催にあたって 3

寄稿「山の豊かさと信濃武士」中澤克昭 5

● 川中島の戦い

武士登場 15

いざ、決戦 17

川中島合戦図屏風を見る 23

上杉謙信と景勝 33

佐藤コレクションの世界 37

武田信玄と勝頼 47

真下家文書の世界 51

● 東の真田

真田の故地 57

赤備えの系譜 65

信綱から昌幸へ 71

武田勝頼とともに 77

豊臣秀吉のもとで 81

関ヶ原の戦い 87

もうひとつの真田 93

書き継がれる歴史 97

● 西の大日方

山村に息づく歴史と文化 101

小川荘と顕光寺 105

大日方家と武田家 109

山村の武将たち その動向 125

武田家滅亡後の動向 129

山村と松代城下と 131

● 描かれた川中島の戦い 135

出品目録 141

主要参考文献 148

謝辞 149

開催にあたって

今から四六〇年前の天文二十二年（一五五三）、北信濃において、甲斐（山梨県）の武将・武田信玄と、越後（新潟県）の武将・上杉謙信が戦いを始めます。俗に言う川中島の戦いがこれにあたるのです。

川中島での戦いは、その後十年余り続きますが、この間、この地に居を構えた武将たちはさまざま動きをします。すなわち、武田信玄、上杉謙信のいずれに加わるかという決断を迫られるのです。川中島の戦いは地域の武将たちにとっては、大きな転換点の戦いだったと言いうことができます。

この展示では、川中島の戦いの頃に川中島平を挟んで東と西の山村に生きた武将たち、具体的には、真田氏と大日方氏を取り上げ、この武将たちがどのような生き方をしたのかを描き出しました。

川中島の戦いを軸として、真田氏や大日方氏がどのようにこの戦いに関係したのか、そして戦争の終わった江戸時代にはどのような生活を見つけたのか、現在に残された文化財によって復元してみました。